

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

### [研究課題名]

肝細胞癌進展における分子シャペロン PFDN 六量体の各サブユニットの特異的機能の解析

[研究責任者名・所属] 武富 紹信(北海道大学病院 消化器外科学 ・教授)

[研究責任機関の長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

### [研究の目的]

肝細胞癌内で増加していると思われる PFDN (Prefoldin) というタンパク質の量と、肝細胞癌の進行度・生命予後との関連を解析するため。

### [研究の方法]

#### 対象となる患者さん

肝細胞癌初発の患者さんで、1997年1月1日から2017年12月31日の間に当院で手術治療を受け、「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム(Tissue Bank)の構築」(先行研究)に参加されている方

#### 利用する検体・情報

検体：手術で採取した肝細胞癌組織(先行研究で同意をいただいたうえで保管しているもの)

情報：診断名、年齢、性別、身体所見(身長、体重等)、検査結果(血液検査、画像検査、病理結果)、手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数、術後生存日数、術後再発の有無、術後再発を認めた場合は使用した治療薬の種類、それによる腫瘍縮小効果の程度

### [研究実施期間]

実施許可日～2027年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

2022年5月13日（第1版）

研究に利用する患者さんの情報と検体に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報と検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[ 連絡先・相談窓口 ]

北海道大学病院 消化器外科学

担当医師：佐藤 彩

住所：北海道札幌市北区北14条西5丁目

電話：011-706-5927 FAX：011-717-7515